

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
1	○	40歳以上													17,196	5,051	29.4%	以上
2	○	40歳以上													38,572	12,066	31.3%	以上
3	○	35歳以上													72,039	24,714	34.3%	以上
4	○	20歳以上													112,413	14,409	12.8%	未満
5	○	40歳以上													69,994	21,502	30.7%	以上
6	○	35歳以上													71,148	1,182	1.7%	未満
7	○	35歳以上													94,368	2,995	3.2%	未満
8	○	40歳以上													169,967	38,708	22.8%	以上
9	○	40歳以上													129,611	23,569	18.2%	未満
10	○	40歳以上													97,762	32,700	33.4%	以上

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
1								○	○	○		○
2						○	○	○	○	○	○	○
3							○	○	○	○		○
4	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診率を年代別に算出し、特に受診率が低いと見られる年代には受診勧奨を行う。 ・受診勧奨ハガキの送付対象者を従来(40～75歳の5歳刻み)よりも拡大する。						○	○			
5								○		○		
6	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。						○	○	○	○		○
7	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。							○	○	○		
8						○	○	○	○	○		
9	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	対象者全員への個別通知。 未受診者への受診勧奨と状況把握調査。 普及啓発も入れた分かりやすい検診案内。				○	○	○				
10								○	○	○		○

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)	
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体受領後 冷蔵保存	受領後 24時間 以内の測定	検査を 他検査機関 委託	カットオフ値を 把握(定量法)	大腸がん マニュアルに 準拠
1	358	7.1%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○					5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	4/5	5/5	5/5
2	1,401	11.6%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応適中度が低い医療機関がある。 ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。	○	○	○					5/5	5/5	4/5	5/5	5/5	5/5	2/5	5/5	5/5
3	1,949	7.9%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	2/5	4/5	4/5
4	961	6.7%	未滿	・がん発見率が低い。	○	○						5/5	5/5	5/5	5/5	4/4	4/4	5/5	4/4	4/4
5	1,560	7.3%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					5/5	4/5	4/5	3/5	4/5	5/5	3/5	5/5	5/5
6	78	6.6%	未滿	・がん発見率が低い。	○	○	○	○	○	○						1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
7	250	8.3%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						5/5	5/5	5/5	4/5	5/5	5/5	0/5	5/5	5/5
8	3,399	8.8%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					5/5	5/5	3/5	5/5	4/5	5/5	4/5	5/5	5/5
9	1,578	6.7%	未滿	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						3/5	5/5	3/5	5/5	2/2	2/2	5/5	2/2	2/2
10	2,333	7.1%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○						4/5	5/5	2/5	5/5	3/3	3/3	5/5	3/3	3/3

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
1					5/5	2/5	4/5	4/5	38	30	290	81.0%	以上			
2					5/5	5/5	5/5	5/5	0	1,222	179	12.8%	未 満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・一次検診受診時での精検の必要性、検査方法の説明の徹底。 ・検診委託先からの情報提供、精検未受診者の把握・勧奨等精検結果が確実に得られるよう医療機関との連携を図るため、検討会・検診体制の構築が必要である。	
3					5/5	4/5	5/5	5/5	374	228	1,347	69.1%	未 満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・受診勧奨を検診開始時から医療機関と協力して行い精検受診機関に余裕を持たせる。	
4					5/5	4/5	5/5	5/5	0	679	282	29.3%	未 満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・要精検者のうち、精密検査の結果が区に 来ていない者について、一次検診を行った 医療機関に対し、精密検診結果の調査を 行う。	
5					5/5	3/5	5/5	5/5	0	690	870	55.8%	未 満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・医療機関からの情報提供を求めていく。	
6	○		○						6	23	49	62.8%	未 満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。		
7	○	○			4/5	4/5	5/5	5/5	64	54	132	52.8%	未 満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。 ・受診しない理由が明らかになっていない。		
8					5/5	4/5	4/5	4/5	850	706	1,843	54.2%	未 満	・受診しない理由が明らかになっていない。		
9					4/5	4/5	4/5	3/5	0	1,445	133	8.4%	未 満	・平成21年6月よりがん検診システムを導入したばかりであるため。	・導入したがん検診システムを使用して結果をデータ管理し、受診勧奨、状況把握通知を送付。その後返信結果でフォローする。	
10					5/5	4/5	5/5	3/5	1,258	0	1,075	46.1%	未 満	・精検未受診者の多い集団の特性が明らかになっていない。		

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
1			・平成20年度から検診実施医療機関から要精検者に対し「がん検診情報提供書兼結果通知書」を交付している。この通知書により精検実施機関から検査結果を報告してもらっている。		○		○				○		
2					○	○	○				○	○	○
3					○		○	○			○		
4					○		○					○	
5					○		○						
6				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7				○	○		○	○			○	○	
8	・個別に受診の有無を調査、有は結果を聞き、無は受診勧奨をする。	・精検を受けるようポスターを公共交通機関へ掲示してほしい。		○	○	○	○	○	○		○	○	○
9							○						
10	・精密検査の追跡調査を充実する予定。				○		○						

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別
1	6	0.12%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○						1.68%	未満	・がん発見率が低い。	○			
2	14	0.12%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○					1.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	
3	39	0.16%	以上		○	○						2.00%	以上		○	○		
4	14	0.10%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							1.46%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○			
5	26	0.12%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○						1.67%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	
6	1	0.08%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○					1.28%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○	
7	7	0.23%	以上		○	○						2.80%	以上		○	○		
8	132	0.34%	以上		○	○	○					3.88%	以上		○	○	○	
9	16	0.07%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							1.01%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
10	46	0.14%	以上		○	○	○					1.97%	以上		○	○	○	

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
1	<ul style="list-style-type: none"> 一次検診受診時の説明 受診者特性の検討 検診機関の要精検判定基準の把握 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 要精検受診結果の把握 検診機関の要精検判定基準の把握 			
3	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(潜血検査) 一次検診受診時の説明 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
4	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
5	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
6	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 受診者特性の検討 	・区で実施		
7	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
8	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
9	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
10	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
11	○	40歳以上													260,225	13,788	5.3%	未滿
12	○	40歳以上													310,198	18,486	6.0%	未滿
13	○	35歳以上													77,736	6,468	8.3%	未滿
14	○	35歳以上													111,650	34,094	30.5%	以上
15	○	30歳以上													192,015	54,631	28.5%	以上
16	○	30歳以上													94,405	3,349	3.5%	未滿
17	○	35歳以上													132,959	3,695	2.8%	未滿
18	○	40歳以上													78,497	16,153	20.6%	以上
19	○	35歳以上													198,146	62,942	31.8%	以上
20	○	30歳以上													255,450	51,573	20.2%	以上

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
11	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・実施予定数・実施期間に制限がある。予定数について増加を図っていく。						○		○		
12	・不明							○	○	○		○
13	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・22年度より申込み方式から受診券発送方式へ変更予定。22年度は全対象者へ送付予定。				○		○	○	○		○
14								○	○	○		○
15						○						
16	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報等で受診率の低い集団へ勧奨する。	・各市区町村の受診率向上対策について補助する。					○				
17	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。				・財政援助、検診のPRをお願いします。 ・婦人科検診とタイアップしたPR、または同等のPRをお願いします。		○	○	○	○	○	○
18						○	○	○	○	○		○
19						○	○	○		○		
20				・区が実施する健康診査の対象となる(30歳代、40歳以上)全区民に対して、がん検診の案内を同封している。区が実施する健康診査の対象とならない人には、誕生日により3回に分けて案内を送付している。				○				

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)	
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体受領後 冷蔵保存	受領後 24時間 以内の測定	検査を 他検査機関 委託	カットオフ値を 把握(定量法)	大腸がん マニュアルに 準拠
11	788	5.7%	未満	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○					5/5	5/5	4/5	4/5	1/1	1/1	5/5	1/1	1/1
12	1,071	5.8%	未満	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	○	○			1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	0/1	0/1	1/1
13	973	15.0%	高い	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応適中度が低い医療機関がある。	○	○	○	○				2/2	1/2	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	2/2	2/2
14	2,888	8.5%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						3/5	5/5	4/5	5/5	3/3	3/3	5/5	3/3	3/3
15	4,616	8.4%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						5/5	4/5	5/5	5/5	5/5	5/5	0/5	4/5	5/5
16	433	12.9%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○						1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1	0/1	1/1	1/1
17	350	9.5%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			○		○	○					0/1	1/1	0/1	1/1	1/1
18	964	6.0%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○	○	○	○	○	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
19	4,712	7.5%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						4/5	5/5	3/5	5/5	3/5	4/5	0/5	4/5	5/5
20	4,923	9.5%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	0/1

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
11					5/5	4/5	3/5	4/5	110	61	617	78.3%	以上			
12	○				1/1	0/1	0/1	1/1	0	216	855	79.8%	以上			
13		○		○	2/2	2/2	1/2	2/2	79	354	540	55.5%	未滿	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・要精密者で二次検診結果の通知がない場合には、電話や文書により追跡調査を行いたい。	
14					4/5	3/5	5/5	3/5	1,848	0	1,040	36.0%	未滿	・受診しない理由が明らかになっていない。		
15	○	○	○	○	5/5	2/5	4/5	3/5	0	3,839	777	16.8%	未滿	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検勧奨のチラシを区民検診受診票と共に送付。	
16	○				1/1	0/1	0/1	1/1	63	169	201	46.4%	未滿	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医師会に更なる協力を依頼する。	
17	○	○	○	○					0	184	166	47.4%	未滿	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。		
18	○	○	○	○					527	0	437	45.3%	未滿	・特になし		
19					5/5	3/5	5/5	4/5	659	2,015	2,038	43.3%	未滿	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・受診の把握ができない者に問い合わせ勧奨する。	・医療機関からの情報提供を義務化する等の体制整備。
20					1/1	0/1	0/1	0/1	不明	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・受診率の向上対策に取り組んでいるため、精検結果把握の具体的対策まで手が回っていない。	

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別
11	44	0.32%	以上		○	○						5.58%	以上		○	○		
12	44	0.24%	以上		○	○						4.11%	以上		○	○		
13	8	0.12%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○	○				0.82%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	○
14	70	0.21%	以上		○	○		○				2.42%	以上		○	○		
15	37	0.07%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○						0.80%	未満	・精検受診率が低い。	○			
16	4	0.12%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○					0.92%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	
17	6	0.16%	以上		○	○						1.71%	未満	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	○
18	20	0.12%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○		○	○	○			2.07%	以上		○			
19	78	0.12%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							1.66%	未満	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
20	不明	不明	不明	・精検受診のデータを把握していない。								不明	不明	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。				

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
11	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 			
12	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 			
13	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 受診者特性の検討 			
14	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
15	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 要精検受診結果の把握 			
16	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 	<ul style="list-style-type: none"> 精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない 		
17	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 区における精度管理の検討(検体の取り扱い) 要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 区で実施 		
18	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
19	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
20	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(潜血検査) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検結果未把握 		

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
21	○	①40歳以上＝区医師会に委託 ②35歳以上＝区直営 ピロリ検診時に 同時実施													253,014	7,287	2.9%	未満
22	○	40～74歳													141,855	21,449	15.1%	未満
23	○	40歳以上													234,221	9,262	4.0%	未満
24	○	40歳以上													189,863	17,421	9.2%	未満
25	○	集団:35歳以上 個別:40歳以上													59,992	13,504	22.5%	以上
26	○	40歳以上													45,987	20,101	43.7%	以上
27	○	40歳以上													58,660	908	1.5%	未満
28	○	40歳以上													50,808	17,559	34.6%	以上
29	○	40歳以上													80,658	3,218	4.0%	未満
30	○	40歳以上													39,848	1,712	4.3%	未満

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
21	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・年度末年齢40・45・50・60歳該当者及び前年度受診者に受診勧奨通知を発送。	・受診啓発リーフレット等の作成、配布、イベントの実施。	○	○	○	○	○	○	○
22	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。	・毎年(年1回)土・日検診日を行い、平日忙しい若年層の受診者を取り込む。		・やや良質の用紙で「がん検診のメニュー表」のようなものを作成し、各戸に配布する。				○	○	○		○
23	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診対象者への周知の徹底(広報・町会回覧・個別通知)。						○	○	○		○
24	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。							○	○	○		○
25						○		○	○	○		○
26						○		○	○		○	○
27	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・定員制であるため、受診率を上げるには定員増が必要。	・がん検診事業への国・都の財政支援を要望。	○		○	○	○	○	○
28								○	○	○	○	○
29	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・検診枠拡大。 ・初回受診者の増加のため事業周知。(40～50代)				○	○	○	○	○	○	
30	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・予算の増額要求を継続的に実施。				○	○	○		

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)	
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体受領後 冷蔵保存	受領後 24時間 以内の測定	検査を 他検査機関 委託	カットオフ値を 把握(定量法)	大腸がん マニュアルに 準拠
21	463	6.4%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		○	○	○	○	2/5	3/5	3/5	5/5	1/1	1/1	5/5	1/1	1/1
22	1,712	8.0%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						5/5	5/5	3/5	5/5	2/2	2/2	5/5	2/2	2/2
23	2,065	22.3%	高い	・がん発見率が高い。	○	○	○					1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
24	1,714	9.8%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○					5/5	5/5	2/5	2/5	2/5	5/5	0/5	2/5	4/5
25	686	5.1%	未満	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。	○	○	○					4/4	3/4	3/4	4/4	4/4	4/4	2/4	4/4	4/4
26	1,222	6.1%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						5/5	5/5	4/5	5/5	1/1	1/1	5/5	1/1	1/1
27	136	15.0%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					4/5	5/5	5/5	4/5	5/5	5/5	0/5	3/5	4/5
28	1,201	6.8%	未満	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	2/3	3/3	3/3
29	210	6.5%	未満	・該当なし	○	○	○	○	○	○	○					1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
30	114	6.7%	未満	・該当なし	○	○						5/5	5/5	5/5	5/5	1/1	1/1	5/5	1/1	1/1

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
21	○	○	○	○	4/5	3/5	4/5	2/5	0	319	144	31.1%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・一次検診医師会委託分の精検把握率が低く、医療機関に対し積極的に精検把握の重要性について周知する。	・精検結果把握が検診精度管理上重要なことをPRして欲しい。
22		○	○		5/5	5/5	5/5	4/5	0	662	1,050	61.3%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検未把握者に精検受診の有無及びその結果を返信ハガキにて回答させる。	
23					1/1	0/1	1/1	1/1	29	1,257	779	37.7%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・検診実施機関と精検実施機関との連携の確立。	
24					5/5	3/5	5/5	5/5	63	265	1,386	80.9%	以上			
25		○			4/4	3/4	2/4	4/4	97	245	344	50.1%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医療機関で受診してから市が結果を把握するまでのブランクが長い。フォローも遅れがち。医師会との更なる連携が必要。	
26	○				4/5	5/5	4/5	4/5	0	1,216	6	0.5%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・委託先から精検結果情報を収集する。	
27					4/5	2/5	5/5	4/5	44	0	92	67.6%	未満	・受診しない理由が明らかになっていない。		
28					3/3	3/3	2/3	2/3	不明	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・具体的対策無。	
29	○	○	○						19	6	185	88.1%	以上			
30					5/5	5/5	4/5	4/5	0	43	71	62.3%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・21年度は個別に確認を行う予定である。	

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けたい理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
21				○	○		○	○		○	○	○	
22					○		○			○			
23				○	○	○	○	○	○		○	○	○
24				○	○	○	○			○	○	○	○
25				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26					○		○	○			○		
27				○	○	○	○	○	○	○	○		
28													
29			・精密検査結果を医療機関から市へ報告。 ・一次検査結果を送付する際に精検結果を記入してもらう アンケートを送付、返信ない場合には電話で状況確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30				○	○		○				○		

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別
21	8	0.11%	未満	・精検結果の把握に時間がかかるため。	○	○			○			1.73%	未満	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○		
22	72	0.34%	以上		○	○						4.21%	以上		○			
23	41	0.44%	以上		○	○	○					1.99%	以上		○	○	○	
24	40	0.23%	以上		○	○	○					2.33%	以上		○	○	○	
25	19	0.14%	以上		○	○	○					2.77%	以上		○	○	○	
26	0	0.00%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○						0.00%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
27	4	0.44%	以上		○	○	○					2.94%	以上		○		○	
28	不明	不明	不明	・精検結果未把握のため。								不明	不明	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。				
29	16	0.50%	以上		○	○	○	○				7.62%	以上		○	○	○	○
30	3	0.18%	以上		○	○						2.63%	以上		○			

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
21	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 要精検受診結果の把握 			
22	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
23	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
24	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 			
25	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 報告時期の検討 検診機関の要精検判定基準の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない 		
26	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 受診者特性の検討 			
27	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
28	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(潜血検査) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検結果未把握 		
29	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 	<ul style="list-style-type: none"> 市で実施 		
30	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
31	○	30歳以上													72,015	21,967	30.5%	以上
32	○	40歳以上													145,393	9,380	6.5%	未滿
33	○	40歳以上													38,248	4,827	12.6%	未滿
34	○	35歳以上													62,211	4,447	7.1%	未滿
35	○	30歳以上74歳以下 (集団検診) 40歳以上 (個別検診)													60,116	23,612	39.3%	以上
36	○	単独40歳以上 胃とセット検診の 場合は 35歳以上													53,064	2,051	3.9%	未滿
37	○	30歳以上													37,032	9,678	26.1%	以上
38	○	40歳以上													25,435	690	2.7%	未滿
39	○	35歳以上													21,456	5,572	26.0%	以上
40	○	35歳以上(男性) 30歳以上(女性)													26,751	986	3.7%	未滿

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
31		・市報やホームページを充実し、周知を徹底する。	・40歳から50歳代の受診率が低い。職域で受ける受診率の把握をして欲しい。					○	○		○	○
32	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・30歳の節目年齢者へがん検診のご案内を個別通知する予定。	・ポスターや広報の充実。 ・がん検診についての補助金。					○	○		○	○
33	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・特定健診との同時実施ができないか検討中。	・補助金の創設。					○	○	○		△ (過去2年間のみ)
34	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・受診の日時等の案内(申込はがき付)の全戸配布。				○	○	○		
35						○	○	○		○		
36	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・20年度は世帯に保健事業一覧表を配布。21年度、健康ガイドと改訂し、がん検診事業の情報の伝え方を工夫する。窓口・ちらし等で受診勧奨を実施。 ・胃がん検診とセットで、休日実施と地域出張検診を継続。アクセスの悪い地域で新規実施。 ・大腸がん予防講座を実施予定。	・勧奨通知用郵送料の補助をお願いしたい。			○	○	○	○	○	○	○
37								○	○	○		
38	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。 ・定員が決まっている。			・検討中				○	○	○		○
39								○		○		○
40	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報などによるPRの工夫。 ・定員増の検討。						○	○	○		

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)	
	要精検者数	要精検率	全国比較		要精検率把握	性・年齢階級別	検診機関別	検体冷所保存	採便翌日回収	検体回収後冷蔵保存	検体回収後即日引き渡し	検体冷所保存	採便翌日回収	検体回収後冷蔵保存	検体回収後即日引き渡し	検体受領後冷蔵保存	受領後24時間以内の測定	検査を他検査機関委託	カットオフ値を把握(定量法)	大腸がんマニュアルに準拠
31	1,746	7.9%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○							5/5	5/5	2/5	5/5	5/5	5/5	2/5	5/5	5/5
32	647	6.9%	未滿	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○							5/5	5/5	4/5	5/5	2/3	2/3	5/5	2/3	2/3
33	424	8.8%	高い	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						4/5	4/5	3/5	5/5	5/5	5/5	4/5	4/5	4/5
34	156	3.5%	未滿	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○					1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
35	1,639	6.9%	未滿	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					4/5	5/5	1/5	5/5	2/2	2/2	4/5	2/2	2/2
36	137	6.7%	未滿	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	0/2	1/2	1/2	1/2
37	783	8.1%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						5/5	5/5	3/5	5/5	4/5	5/5	4/5	5/5	5/5
38	46	6.7%	未滿	・該当なし	○	○	○	○	○	○		2/2	1/2	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	2/2	2/2
39	411	7.4%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○							5/5	5/5	4/5	5/5	5/5	3/5	5/5	5/5	5/5
40	53	5.4%	未滿	・がん発見率が低い。	○	○	○					1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
31	○	○		○	5/5	4/5	4/5	5/5	415	595	736	42.2%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・未把握者に対し、電話での追跡調査の強化。	・医療機関に東京都が精密検査結果の調査を実施して欲しい。
32					5/5	4/5	5/5	5/5	0	353	294	45.4%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・市内の精密検査を行っている病院からの情報を受ける。	
33		○			5/5	0/5	5/5	1/5	39	87	298	70.3%	以上			
34	○	○			1/1		1/1	1/1	21	0	135	86.5%	以上			
35					3/5	4/5	5/5	1/5	224	752	663	40.5%	未満	・精検未受診者からの情報が得られない。	・精検未受診者に対し、個別に連絡し、結果について回答を求める。	
36					1/2	1/2	1/2	1/2	20	3	114	83.2%	以上			
37					5/5	2/5	5/5	4/5	216	216	351	44.8%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医療機関との連携を密にし、迅速・正確な情報提供を求める。	
38	○	○		○	2/2	2/2	1/2	2/2	4	1	41	89.1%	以上			
39					5/5	5/5	5/5	5/5	0	308	103	25.1%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検対象者に対するアンケートを実施し、結果について返送してもらい、把握を試みる。返送されなかった方に対し電話フォローしていく。	・東京都での受診医療機関の統一。(都で契約)
40					1/1	1/1	0/1	1/1	1	33	19	35.8%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・電話や文書による把握方法の検討。	

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
31				○	○	○	○	○		○	○	○	
32							○						
33				○	○		○						
34			・精密検査の助成金を出しており、それを請求する時に結果を把握できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35					○	○	○	○	○		○	○	○
36			・市内の医療機関及び施設(文書契約)での精検結果については、文書で結果報告を受けている。(施設のみ契約)他医療機関の場合、本人へ文書又は電話による追跡を実施し把握している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37					○		○	○			○	○	
38			・個別電話勧奨。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39							○		○				
40					○	○	○	○	○		○	○	○

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別
31	42	0.19%	以上		○							2.41%	以上		○	○		
32	27	0.29%	以上		○							4.17%	以上		○			
33	26	0.54%	以上		○							6.13%	以上		○			
34	8	0.18%	以上		○	○						5.13%	以上		○	○		
35	51	0.22%	以上		○	○	○					3.11%	以上		○	○		
36	3	0.15%	以上		○	○	○	○	○	○		2.19%	以上		○	○	○	○
37	21	0.22%	以上		○	○						2.68%	以上		○			
38	3	0.43%	以上		○	○		○				6.52%	以上		○			
39	4	0.07%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							0.97%	未満	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
40	0	0.00%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○					0.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○			

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
31	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない 		
32	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 		<ul style="list-style-type: none"> 1機関未回収(検診実施機関用又は検査委託機関用) 	
33	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 			
34	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 			
35	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
36	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 		<ul style="list-style-type: none"> 1機関未回収 	
37	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 精検未受診理由および要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない 		
38	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 			
39	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 要精検受診結果の把握 			
40	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
41	○	40歳以上													29,075	671	2.3%	未満
42	○	35歳以上													26,565	1,039	3.9%	未満
43	○	40歳以上													43,059	1,728	4.0%	未満
44	○	30歳以上													24,043	1,301	5.4%	未満
45	○	40歳以上													50,938	17,004	33.4%	以上
46	○	40歳以上													27,199	4,142	15.2%	未満
47	○	40歳以上													19,438	4,690	24.1%	以上
48	○	35歳以上													29,292	4,341	14.8%	未満
49	○	40歳以上													67,507	19,841	29.4%	以上
50	○	40歳以上													11,915	3,123	26.2%	以上

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
41	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・定員増に伴う予算の確保。		○	○	○	○	○		○
42	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・特定健診等との同時検診。 ・ハガキでの申し込み。 ・対象枠の拡大。 ・節目年齢対象者への個別通知。 ・検診PR活動。	・検診の必要性等、国や都レベルでのPRに努めてもらいたい。		○	○	○	○		
43	・不明	・健康増進計画で健康づくり推進員によるPR。 ・広報紙一面に掲載。 ・集団検診実施場所の増加。 ・胃がん等集団検診時にPR。	・特定健診で便潜血一日法が実施されており、二日法の意義を保健所でも説明してもらいたい。					○	○			
44	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・地域別に、受診率が低い地域がある。	・若い世代へのPR強化。 ・予算の確保。 ・有料化等。						○				
45							○	○	○	○		○
46	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・なし					○	○	○	○	○	○
47								○	○	○		
48	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診勧奨通知の実施を検討。	・各区市町村の実情に合った財源補助の創設。				○	○		○		
49								○	○	○		○
50							○	○	○	○		

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)	
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体受領後 冷蔵保存	受領後 24時間 以内の測定	検査を 他検査機関 委託	カットオフ値を 把握(定量法)	大腸がん マニュアルに 準拠
41	29	4.3%	未滿	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○						2/3	2/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	
42	64	6.2%	未滿	・がん発見率が低い。	○	○	○						2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	0/2	2/2	2/2
43	111	6.4%	未滿	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○							5/5	5/5	3/5	5/5	4/5	4/5	5/5	1/5	4/5
44	82	6.3%	未滿	・該当なし	○	○						2/2	1/2	2/2	2/2	2/2	2/2	0/2	2/2	2/2
45	1,338	7.9%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○							5/5	5/5	3/5	5/5	4/5	5/5	1/5	3/5	4/5
46	551	13.3%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					5/5	5/5	3/5	5/5	3/5	5/5	2/5	4/5	5/5
47	330	7.0%	同値		○	○	○					4/5	5/5	4/5	5/5	4/4	4/4	5/5	4/4	4/4
48	243	5.6%	未滿	・がん発見率が低い。	○	○	○					2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	2/2	2/2
49	1,522	7.7%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					4/5	4/5	3/5	3/5	2/2	2/2	4/5	2/2	2/2
50	881	5.7%	未滿	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○					4/5	5/5	4/5	5/5	3/3	3/3	5/5	3/3	3/3

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
41					3/3	2/3	2/3	0/3	3	0	26	89.7%	以上			
42	○				2/2	2/2	2/2	2/2	0	14	50	78.1%	以上			
43					5/5	5/5	3/5	4/5	10	2	99	89.2%	以上			
44					2/2	1/2	2/2	2/2	11	16	55	67.1%	未満	・本人との連絡が取れない。	・現状、電話しても連絡が取れない。 ・精検勧奨の手紙を出す等検討する。	
45	○	○	○	○	3/5	3/5	5/5	5/5	233	626	479	35.8%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・一次検診実施医療機関に結果把握の協力を依頼。	・医療機関(一次・精検実施機関)へがん精度管理情報提供の協力依頼。
46					5/5	3/5	4/5	2/5	不明	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・なし	
47					5/5	1/5	5/5	4/5	48	124	158	47.9%	未満	・精検者の追跡調査を行っているが返答が得られない。	・追跡調査の強化。	
48					2/2	2/2	2/2	2/2	41	20	182	74.9%	以上			
49					4/5	3/5	4/5	4/5	351	435	736	48.4%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・医師会への依頼強化。 ・精検結果返送依頼の作成。	・都内医療機関への作成協力依頼。 ・市町村あて文書は、無料とすることの協力依頼。
50					5/5	4/5	4/5	5/5	70	556	255	28.9%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。		

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)				
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
41	0	0.00%	未満	・該当なし	○	○							0.00%	未満	・該当なし	○			
42	1	0.10%	未満	・該当なし	○	○							1.56%	未満	・がん発見率が低い。	○	○		
43	8	0.46%	以上		○								7.21%	以上		○			
44	5	0.38%	以上		○	○							6.10%	以上		○	○		
45	41	0.24%	以上		○								3.06%	以上		○			
46	不明	不明	不明	・精検結果未把握のため。									不明	不明	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検結果未把握のため。				
47	10	0.21%	以上		○	○	○						3.03%	以上		○	○	○	
48	3	0.07%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○						1.23%	未満	・がん発見率が低い。	○	○	○	
49	47	0.24%	以上		○								3.09%	以上		○			
50	13	0.08%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○						1.48%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
41	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 受診者特性の検討 			
42	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 受診者特性の検討 検診機関の要精検判定基準の把握 			
43	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 			
44	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
45	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 要精検受診結果の把握 			
46	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い・潜血検査) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 	・精検結果未把握		
47	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
48	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 受診者特性の検討 検診機関の要精検判定基準の把握 			
49	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
50	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			15450

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
51	○	40歳以上													6,362	995	15.6%	未滿
52	○	18歳以上													1,389	186	13.4%	未滿
53	○	30歳以上													3,193	810	25.4%	以上
54	○	年齢制限なし													4,012	795	19.8%	以上
55	○	希望者住民全員 年齢制限なし													126	52	41.3%	以上
56	○	年齢制限なし													1,447	258	17.8%	未滿
57	○	20歳以上													880	137	15.6%	未滿
58	○	40歳以上													1,435	331	23.1%	以上
59	○	30歳以上													95	46	48.4%	以上

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
51	年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	町の広報誌での複数月の掲載協議とポスターによるPR強化。					○	○		○		
52	年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	広報などで広くがん検診受診を勧めるとともに、特定の年齢層に対しては受診勧奨のハガキを送付する。	がん及びがん検診についての普及啓発活動をより積極的に実施し、都民の方々のがん・がん検診に対する意識を高めてもらいたい。	特定健康診査との同時実施について、担当部署と協議・検討する。	都内や東京都近郊の自治体にある検診実施機関でならば、何処でもがん検診を受けられるような制度を作っていたら、受診者の利便性が高まると思われる。 がん検診の受診率向上に対する取り組みや、成功・失敗事例などを研修会や講演会を通じて紹介して欲しい。	○		○	○	○		○
53							○	○	○	○		○
54							○	○	○	○		
55												
56	年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			平成22年度は2年に一度の乳がん、子宮がんを実施する年になっているので、広報やリーフレットでがん検診推進のキャンペーンを行いたい。	がん検診を受けたほうがいいことは、かなり認識されているが、時間が取れないなどで受けていない人が多い。都では職場用にポスターを制作し、掲示してもらったり、マスコミを利用したキャンペーンを展開し、社会的な盛り上がりを促すことを行っていただきたい。			○				
57	昨年より日数を増やしたが、キャンセル者が多かった。											
58						○	○					
59						○	○	○	○	○	○	○

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)			
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体 冷所保存	採便 翌日回収	検体回収後 冷蔵保存	検体回収後 即日 引き渡し	検体受領後 冷蔵保存	受領後 24時間 以内の測定	検査を 他検査機関 委託	カットオフ値を 把握(定量法)	大腸がん マニュアルに 準拠		
51	359	4.6%	未滿	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○						1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1		
52	67	3.1%	未滿	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○									2/2	2/2	1/2	2/2	2/2	2/2	1/2	2/2	2/2
53	212	7.2%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○									5/5	5/5	5/5	5/5	2/2	2/2	4/5	2/2	2/2
54	245	7.0%	同値		○	○	○	○	○	○	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
55	17	7.6%	高い	・受診者数が少なく、1名の影響が大きいため。	○									1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
56	62	6.7%	未滿	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○								1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
57	108	14.9%	高い	・該当なし	○									1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
58	58	5.3%	未滿	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○	○						0/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
59	4	2.6%	未滿	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○							1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
51					1/1	1/1	1/1	1/1	37	122	200	55.7%	未満	・結果は対象者から町が直接報告を受け る。報告時期までに情報が得られない。	・電話・通知による早期結果把握の強化。	
52					2/2	2/2	2/2	2/2	8	6	53	79.1%	以上			・精検結果把握の方法について、具体的な 方法や成功・失敗事例を研修会などで教え て欲しい。
53					5/5	5/5	5/5	5/5	20	133	59	27.8%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・電話による追跡調査を検討中。	
54					1/1	0/1	1/1	1/1	62	58	125	51.0%	未満	・受診しない理由が明らかになっていな い。		
55					1/1	0/1	1/1	1/1	0	11	6	35.3%	未満	・精密検査先病院が把握できない。	・島という環境で上京受診となる。本人へ 事後後追い確認していく。検査委託先は医 療実施なしのため、他医療機関の受診が 必要となる。	
56					1/1	1/1	1/1	1/1	14	9	39	62.9%	未満	・受診しない理由が明らかになっていな い。		
57					1/1	1/1	1/1	1/1	21	15	72	66.7%	未満	・該当なし		
58					1/1	0/1	1/1	1/1	11	37	10	17.2%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・電話及び訪問による個別アプローチ。	
59		○			1/1		1/1	1/1	1	2	1	25.0%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・情報提供体制を整える必要がある。	

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
51				○	○	○	○			○			
52			・個別訪問をして確認をしている。	○			○			○	○		
53							○	○	○		○	○	○
54	・医療機関と連絡し個別連絡をする。				○	○	○	○	○		○	○	○
55							○						
56	・年度末に精検結果未把握の場合は、保健 師より本人へ確認していく。						○			○			
57							○						
58							○						
59							○			○			

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別
51	11	0.14%	以上		○	○	○						3.06%	以上		○	○	○
52	1	0.05%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・検診受診者数が少ない。	○								1.49%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		
53	2	0.07%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○								0.94%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○		
54	7	0.20%	以上		○	○	○						2.86%	以上		○		
55	0	0.00%	未満	・受診者数が少ないため。	○								0.00%	未満	・受診者数が少ないため。	○		
56	2	0.22%	以上		○								3.23%	以上		○		
57	1	0.14%	以上		○								0.93%	未満	・精検受診率が低い。	○		
58	0	0.00%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○								0.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○		
59	0	0.00%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・人口が少ないのでがん発見率が低くなる。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○								0.00%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○		

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
51	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握	・精検受診把握の情報提供 体制はできているが、報告時 期までに情報が得られない		7762
52	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) ・受診者特性の検討			2134
53	・対象年齢の検討 ・要精検受診結果の把握			2930
54	・対象年齢の検討 ・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			3477
55	・対象年齢の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			225
56	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上 ・データの蓄積	・過去3年間分(H18・19・20 年度)の結果を集計		929 (3年分受診者数)
57	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			726
58	・検診機関精度管理の検討(検体の取り扱い) ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・データの蓄積	・過去4年間分(H17・18・19・ 20年度)の結果を集計		1100 (4年間分受診者数)
59	・対象年齢の検討 ・要精検受診結果の把握	・H20年度より、二日法へ変 更		156

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象													2 受診率(二日法)				
	便潜血二日法	対象	便潜血一日法	対象	S状結腸鏡	対象	S状結腸鏡 +便潜血	対象	全大腸 内視鏡	対象	注腸エックス線	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
60	○	40歳以上													4,000	415	10.4%	未滿
61	○	40歳以上													72	12	16.7%	未滿
62	○	40歳以上													791	77	9.7%	未滿

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)				
		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別 集計	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録
60	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・がん検診の趣旨普及に努める。						○				○
61	・検診対象者数が少ないため1名の影響が大きい。	・個々の受診勧奨を機会をみて行っている。				○			○			
62	・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・広報活動の強化。		○	○	○	○	○	○	○

区市町村 (No)	3 要精検率			分析	(1)集計作業(要精検率)			③-1-1検体の取り扱い(区市町村実施)				③-1-2検体の取り扱い(医療機関実施) (満たしている機関数/検診実施機関)				③-2検体の取り扱い (満たしている機関数/検診実施機関)			③-3便潜血検査の技術管理 (満たしている機関数/検診実施機関)	
	要精検者数	要精検率	全国比較		要精検率把握	性・年齢階級別	検診機関別	検体冷所保存	採便翌日回収	検体回収後冷蔵保存	検体回収後即日引き渡し	検体冷所保存	採便翌日回収	検体回収後冷蔵保存	検体回収後即日引き渡し	検体受領後冷蔵保存	受領後24時間以内の測定	検査を他検査機関委託	カットオフ値を把握(定量法)	大腸がんマニュアルに準拠
60	93	5.1%	未滿	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○						1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
61	2	2.0%	未滿	・受診者数が少ないため。	○		○	○	○			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1
62	10	3.5%	未滿	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○	○	○	○		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					分析	対策I	
	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
60		○			1/1		1/1	1/1	8	30	55	59.1%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・精検者に対し受診状況及び結果の報告を依頼する。	
61					1/1	0/1	1/1	1/1	不明	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。		
62	○	○					1/1	1/1	0	0	10	100.0%	以上			

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
60					○		○						
61													
62			・検診機関が一機関のみである。	○	○	○	○	○	○				

区市町村 (No)	6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)			7 陽性反応適中度		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別
60	3	0.16%	以上		○	○						3.23%	以上		○	○		
61	不明	不明	不明	・対象者・受診者が極めて少ないため。								不明	不明	・対象者・受診者・要精検者とも少ない。				
62	2	0.71%	以上		○	○	○					20.00%	以上		○	○	○	○

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
60	・がん検診の必要性周知と受診率の向上	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		1836
61	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握	・精検結果未把握		101
62	・がん検診の必要性周知と受診率の向上			283